

普及現地情報

発信年月日：平成26年(2014年)6月3日

所属名：湖東農産普及課

番号：F14003

部門分類：110(稲)

発信者名：河村、川村、湯浅

水稻技術情報「みずかがみ通信」を発信

今年度湖東管内では、113 農家、約 121ha で「みずかがみ」の作付けが行われています。

今年のみずかがみの生育は、田植時期に風による植え痛みを心配しましたが、連休明け以降は晴れの日が続き気温が高く経過したことからスムーズに活着しその後も晴れた暑い日が続く、現在活発に分げつが発生しています。

当課では、「みずかがみ」普及のスタートダッシュを図るべく JA と連携し管内の代表的なほ場 10 地点の調査を行い、生育に応じた栽培方法についてタイムリーな情報を農家にお伝えするため「みずかがみ通信」を発行する予定です。6月2日に発信しました「みずかがみ通信」では、これまでの気象経過や調査結果をもとに適期中干しなど適正な水管理について情報を発信しました。今後も良質米生産のポイントとなる時期に随時発行していく予定です。

みずかがみ通信

第1号

平成26年6月2日
湖東農業農村振興事務所農産普及課

中干しの時期になりました!

1. これまでの生育経過
育苗期は、一時高温で経過しましたが晴れた日が多く順調に生育しました。ただし、みずかがみは、品種特性上他の品種より草丈はやや低く、比較的しっかりとした苗になりました。田植期は、雨や曇りの日が多く風による植え痛みを心配しましたが、連休明け以降は、晴れの日が続き気温が高く経過したことからスムーズに活着しました。
5月中下旬には晴れた暑い日が続く、ほとんどのほ場では活発に分げつが発生していますが、一部のほ場では還元障害による分げつ抑制が見受けられます。

2. 生育の状況(各地域の代表的なほ場での調査結果)
5月30日現在の調査では、草丈は約28cm、分げつは穂付け本数の約2.5~3倍となっており、順調に生育しているほ場では1株当たりの茎数は約11本程度になっています。このまま生育が進めば、6月5日頃には茎数は約16本になる見込みです。

3. これからの管理
中干しは6月上旬を目安に行いましょう!

中干し開始の目安は	
1株あたりの茎数	60株植えなら16本(50株植えなら19本)
	70株植えなら13本

※中干し開始時期の茎数の目安は、目標穂数の80%です。

◎ほ場の状態を確認のうえ、遅くとも6月10日までに中干しが始められるよう準備しましょう。
◎葉色がうすく、分げつが少ないほ場は還元障害によりガスが溜まっている可能性がありますので速く中干しに入ってください。



基準ほの調査の様子

みずかがみ通信